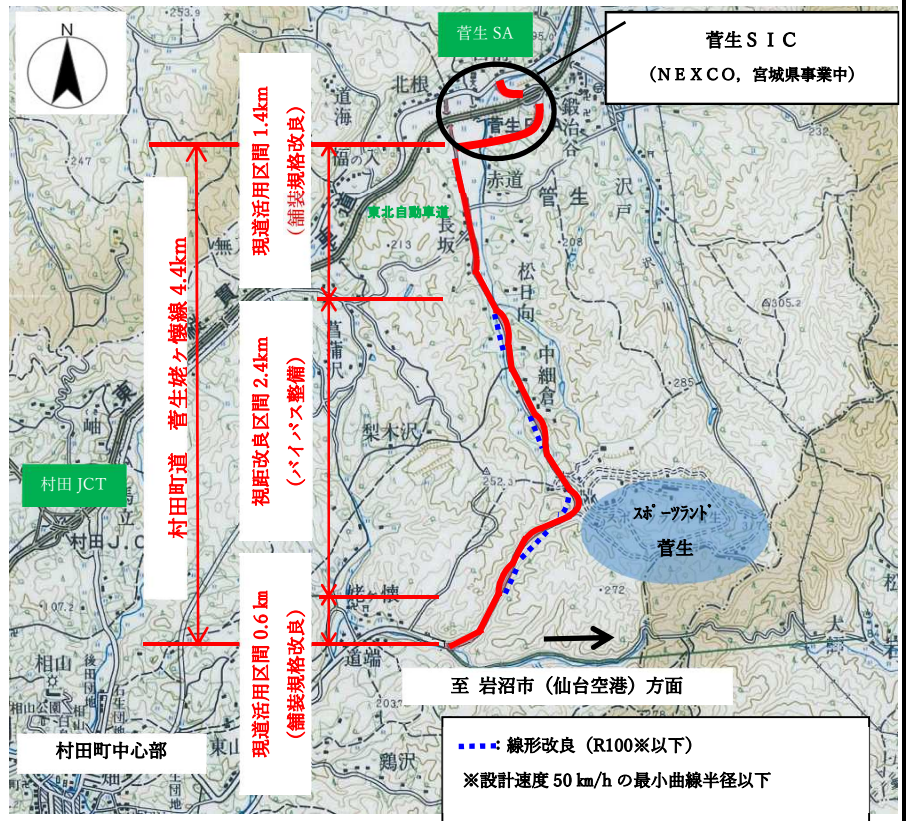


再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
 担当課長名：高松 諭

事業名	スマートICアクセス 町道菅生姥ヶ懐線	事業区分	地方道	事業主体	村田町
起終点	自：宮城県柴田郡村田町大字菅生字下倉 至：宮城県柴田郡村田町大字小泉字北姥ヶ懐			延長	4.4 km
事業概要					
町道菅生姥ヶ懐線は、現在整備中の菅生SIC及び主要地方道岩沼蔵王線を結ぶ延長4.4kmのアクセス道路であり、菅生SICから国際産業交通拠点である仙台空港への重要なアクセス路線である。菅生SIC整備後の交通量増加に対応するため、路線の規格改良整備及び視距の改良により線形修正と車道拡幅を行い、交通事故の軽減と交通の円滑化を図るものである。					
H31年度事業化	—		H31年度用地着手	H31年度工事着手	
全体事業費	約8.3億円	事業進捗率	約56%	供用済延長	— km
計画交通量	約2,400台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 3.5/9.6億円 事業費：1.7/7.8億円 維持管理費：1.8/1.8億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 10/10億円 走行時間短縮便益：8.1/8.1億円 走行経費減少便益：1.9/1.9億円 交通事故減少便益：0.2/0.2億円	基準年 令和4年
	(残事業)	2.9			
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=0.98~1.1 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.7~3.1 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.03~1.1 (事業費±10%) 事業費：B/C=2.8~3.0 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.02 (事業期間+20%) 事業期間：B/C=2.8 (事業期間+20%)					
事業の効果等					
・菅生SICと一体に整備することにより、東北自動車道経由で三次医療施設（仙台市立病院）への輸送時間の短縮に寄与。 ・第一次緊急輸送道路（東北自動車道）第二次緊急輸送道路（主要地方道仙台村田線・主要地方道岩沼蔵王線）を結ぶ本路線を整備することにより緊急輸送道路の利用強化が図られる。					
関係する地方公共団体等の意見					
地元住民、地元町議員及び菅生自治振興協議会から事業の早期完成の要望活動が行われている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率0%、事業進捗率約56%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
早期完了を目指し、工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。					
対応方針		事業継続			
対応方針決定の理由					
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。